

# 岡山県高P連 会報

発行：岡山県高等学校PTA連合会

事務局：〒700-0824岡山市北区内山1-14-19 / TEL：086-234-1640 / FAX：086-234-1835

URL：http://www.okayama-koupren.jp / E-mail：okayama-koupren@ybb.ne.jp

## 第65号

### 新年度へのメッセージ オール県高P連の未来圏へ 『つながり子育て、結ぼう手と手』

岡山県高等学校PTA連合会会長

川上 俊久



お子様のご卒業も間近な、幼小中高14年に亘るご尽力を賜りました方々をはじめ、加盟校の皆様には、学校PTA活動並びに本会へのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2016情熱疾走中国総体「美しく咲け 君の笑顔と努力の華」全国高等学校総合体育大会（7月28日より24日間）の12年ぶりの9種目岡山開催をはじめ、上限年齢撤廃や地域枠新設の県教員採用変更や、選挙年齢改正後初の国政選挙も7月に予想され、オール県高P連の力も望まれます。

全国最下位の県少年（10〜20歳）非行率からも昨年上半年に脱し、改善傾向です。本年もオール県高P連

で善行保導に努め、ワースト圏から脱しましょう。また選挙年齢改正に伴う主催者教育や政治活動・選挙違反等の役員学習も計画中ですが、電子メール（SNSを除く）による候補者への投票依頼の文書図画転送が「2年以下の禁錮か50万円以下の罰金刑」となり、選挙権も停止されることや、「お金がない」等の理由で子どもたちが夢を諦めなくてもいい制度の充実等、身近なテーマでの選挙の役割をご家族でも話してみたい。

また、子どもたちの夢を育てる来年度計画用アンケート等も実施し、子どもたちの笑顔につながる事業を優先しつつ、生徒支援（キャリア教育や就職・進学・課外活動・留学支援、校内外の安全や健康確保、スマホ指導、いじめや非行防止、心の病のケア、LGBT配慮、経済的支援）や会員支援（他校PTAや就

職先・大学訪問、緊急時や定期配信PC配備、教員のPTA活動費、学習会や生徒や会員懇親）や連携支援（7月の香川大会・8月の千葉大会、1月の幼小中高P研修大会の参加増、校外会議旅費給付、生徒会や同窓会・地縁団体・NPOとの協働）の三支援の拡充も宜しくお願いいたします。同時に来春の消費増税や対少子化の財源策に、会費増の前に「議決権を有しない賛助法人会員」等も一考いただき、PTAの購入取引先等からの新規年会費による増収等もご検討下さい。できれば学校の評議員会のようにPTA卒業生等も集える「外部有識者会議」があると理想的でしょう。

将来、多様な財源で、修学旅行や留学の支援や奨学金給付等の経済的支援を担うファンドレイザーや活動支援員を雇用する指定管理者時代が来ようとも、私たちは家族・学校・地域を愛せる子どもの育成に智慧を集め、共に未来圏・世界圏へ進む会員の皆様方の明日が更に明るくなるように「綿密な協力を繋ぎ続け、結び続けたい」といつも考えております。

職先・大学訪問、緊急時や定期配信PC配備、教員のPTA活動費、学習会や生徒や会員懇親）や連携支援（7月の香川大会・8月の千葉大会、1月の幼小中高P研修大会の参加増、校外会議旅費給付、生徒会や同窓会・地縁団体・NPOとの協働）の三支援の拡充も宜しくお願いいたします。同時に来春の消費増税や対少子化の財源策に、会費増の前に「議決権を有しない賛助法人会員」等も一考いただき、PTAの購入取引先等からの新規年会費による増収等もご検討下さい。できれば学校の評議員会のようにPTA卒業生等も集える「外部有識者会議」があると理想的でしょう。

### 岡山県高等学校PTA指導者研修会報告

平成27年11月17日（火）  
ピュアリティまきぎにおいて開催し、135名が参加しました。

はじめに、県教育庁より、PTAの目的や役割、人権教育の推進についての説明がありました。



【堀川 歩氏による講演】

ご自身の経験を語られ、知らなかった事の多い内容でしたが、「自分の物差しで他人を計らない」「特別扱いではなく自然に接する」など、誰もがかけがえない存在であると再認識しました。

講演後、少人数のグループに分かれて各PTA活動の紹介や、情報交換を行いました。

どのグループも活発に意見を交わし、「楽しくなければPTAじゃない!」とあるグループの意見に皆共感し、他校の活動を熱心に聞き入る姿に、参加者皆様の向上心の高さに大変関心いたしました。

本研修会は人権教育研修会も兼ねて開催しています。人権課題の一つである性的少数者や、性的少数者を取り巻く人権問題等について理解と認識を深める為に「セクシュアルマイノリティって何?」とまずは知る事からはじめよう」と題し、株式会社ミライロ（ディレクター兼講師）堀川 歩氏に講演いただきました。



# 単位PTA活動紹介

## 清心女子高等学校

本校はキリスト教の精神に基づいた人間教育を基本として、現代社会に貢献できる女性の育成を目指し、本年130周年を迎えるカトリックの女子高校です。

保護者会の活動といたしましては、文化祭におけるバザーと模擬店を中心とした奉仕活動と、進路講演会の主催が大きな行事となります。

バザーでは、献品された品物の値付け、包装から販売までを行っております。毎年大変好評をいただいております。時間によっては入場制限をさせていただいたり、皆様にご不便をおかけ



していることもあります。

模擬店では、ぶっかけうどん、フランクフルト、ハツシユドポテト、かき氷やおにぎり、ジュース類の販売を行っております。これら



の準備や運営は、保護者が各担当グループに分かれて、昨年度の状況や問題点を記録の確認をしながら進めております。当日の販売では保護者のほかに子供たちも手伝いに入ってくれま

すので、一体感が生まれ楽しく取り組んでおります。しかしながら、前売りをしていないこともあり、最後の数量の調整には少々気を使わなければならぬという苦労もあります。

進路講演会は、高校2年生の生徒と保護者を対象として、3学期に行っております。少しでも大学受験の負担が軽くなるように、現在の大学受験の実状や状況、受験に向かう生徒及び保護者の心構えを、専門の方をお招きして講演会を開催させていただいております。

このように少ない活動ではありますが、子供たちだけでなく保護者会も「奉仕」の心をもってこれからも活動してまいりたいと思っております。これからも保護者と教員がひとつになり、生徒の成長を見守っていくことのできる学校にしていききたいと思っております。

## 県立玉野光南高等学校

本校は一昨年度に創立三十周年を迎え、今年度も多くの運動部文化部が全国大会に出場するなど、校訓『自律・創造・敬愛』のもと文武両道を目指して日々



精進しております。

そのような中、PTAは生徒たちの毎日の学校生活を支えるために総務・部活動・補導・進路指導の4つの委員会を組織して活動しています。委員会では、保護者と担当教員による学校祭への出店、PTA新聞の発行、列車や街頭での補導、年1回の進路講演会など、お互いに協力しながら積極的に活動しています。

9月に行われた文化祭では、例年通り模擬店として焼きそば・フランクフルト・赤飯や山菜おこわ・ジュースを販売しました。運営にあたっては6月頃から総務委員を中心に何度も打ち合わせを重ねて準備をしてきました。またバザーの物品提供では、毎年多く



の方の御協力があります。体育祭でも、昨年度よりジュース販売をPTAでするようになり、熱中症対策として生徒たちの助けになればと思っております。

11月に開催した進路指導委員会主催の進路講演会では高松高等予備校の太田浩二先生を講師にお招きして「進路実現に向けて」という演題で保護者約50名を対象に講演をしていただきました。

縁あってPTA活動に参加することで、子供とともに成長し保護者間の絆も深まりました。これからも学校・保護者・地域の連携を図りながらPTA活動を盛り上げていきたいと思っております。

## 県立新見高等学校

本校は平成17年に新見高等学校、新見北高等学校が統合され、2つの校地(南校地・北校地)からなる新しい新見高等学校としてスタートし、今年度春には11期生を迎えました。

普段はそれぞれの科(普通科(南校地)、生物生産科・工業技術科・総合ビジネス科(北校地))で校地に別々に勉強に勤しんでいます。放課後の部活動は両校地の生徒と一緒に活動しています。また、入学式や卒業式の式典、入学後の宿泊研修、修学旅行、ウォーキング大会、体育祭などの行事を南北校地合同で行い、校地間の交流を図りながら



【備北地区指導者研修会】



学校生活を送っています。PTA活動については、それぞれの校地で役員を配置し、校地別に会議を行っています。必要に応じて、合同会議を行うとともに、夏祭の補導も合同で行っています。それぞれの校地で一番大きな行事は文化祭です。文化祭2日目、生徒の模擬店と併せてPTAで出店しています。毎年PTA評議員会で内容を検討しますが、ここ数年は好評につき、「うどん」を出店しています。南校地の文化祭は8月末頃という暑い時期なので、温かいうどん、冷たいうどん両方を用意し、お

お客様の好みに合わせてお楽しみ頂いています。呼びかけをする多くのPTA会員の人が集まってくださり、前年度までの気づきを活かし、よりよい運営になるよう準備段階から様々な工夫を考えてください。文化祭当日は準備や役割分担、調理や接客など、ときはきと動いてくださるだけでなく、とても賑やかで楽しい雰囲気の中、笑いのあふれる素敵な空間が出来上がっています。時代の流れと共に保護者の働き方や学校との関わり方も少しずつ変化していく中、新見高校PTAはこれからも保護者と教員がよく話し合い、協力して子どもたちの成長を見守り、ますます発展していきたいと思っています。

**県立岡山御津高等学校**

岡山御津高等学校でのPTA活動について報告させていただきます。本校の平成27年度のPTA活動は、10月の臥龍祭体育の部（体育祭）でのおいぎりと飲料水の販売、11月の臥龍祭文化の部（文化祭）での鯛焼き販売、12月のPTA研修



旅行、2月の校内マラソン大会での豚汁の炊き出しと4つの活動を計画し実行しています。PTA役員を中心に保護者の交流を図り楽しく活動しています。体育祭では400本の飲料水を販売し、文化祭ではPTA・OBの方が鯛焼き作りの方法を教えに来てくださり、新旧の交流を持ちながら和気あいあいと行いました。あん、カスタード、チョコレート、抹茶と4種類の鯛焼きを焼きました。2日間で1931個の鯛焼きを生徒たちに食べてもらいました。今年の鯛焼きの生地には卵をたくさん入れたのでとても美味しい鯛焼きが焼けました。12月のPTA研修旅行



【PTA研修旅行】

は、大阪の専門学校を訪問し、体験授業などを受けてきました。高校を卒業し専門学校に進学する生徒もいることもあり、大変勉強になりました。今年の研修旅行の企画はPTA・OGの方がしてくださりました。本当にありがたいことです。残るは2月の校内マラソン大会での豚汁の炊き出しです。地元野菜をふんだんに入れて作ります。保護者がPTA活動を楽しみ一生懸命取り組んでいる姿を生徒たちが見ることで、人と人の関わり合いの大切さに気付いてもらえればと願って御津高PTAの保護者は頑張っています。

**平成28年度の予定**

◆岡山県高等学校PTA連合会総会・研修会

日時：平成28年6月21日（火）  
場所：ピュアリティまきび

◆岡山県高等学校PTA指導者研修会

日時：平成28年11月8日（火）  
場所：ピュアリティまきび

◆第35回岡山県幼・小・中・高PTA連合会連絡協議会研修大会

日時：平成29年1月20日（金）  
場 所：岡山シンフォニーホール

●第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会

日時：7月15日（金）  
場所：アルファーあなぶきホール  
高松市



●第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会

日時：8月25日（木）～8月26日（金）  
場所：幕張メッセ 千葉市



# 岡山県幼・小・中高PTA連合会連絡協議会 第三十四回 研修大会

【テーマ】  
「心豊かで生きる力を持つ子どもを育てよう」

【期日】  
平成28年1月22日(金)

【場所】  
岡山シンフォニーホール

【趣旨】  
県内の幼・小・中・高PTA関係者が一堂に会し、新しい時代を拓く心豊かで生きる力をもつ子どもを育成するため、子どもの成長・発達に即した家庭教育の在り方について研修を深め、これからのPTA活動の一層の発展を図る。

【内容】  
岡山県下の保護者及び教育関係者約1600人が参加し、伊原木隆太郎知事をはじめ竹井教育長ら多数の来賓にご臨席いただき研修大会を開催した。

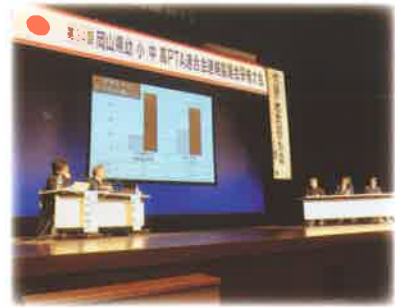
◆高等学校の活動発表◆  
「防犯ホタルくん」と題し、岡山県立東岡山工業高等学校の生徒による発表があった。

「防犯ホタルくん」とは、学校の周辺の暗い夜道を改善するため、自然エネルギーで発電した電気を使用して学校周辺の壁に取り付けた防犯灯を点灯させ、地域の安全に貢献するプロジェクトです。人感センサーにより点灯する防犯ライトを東岡山工業高校にある5科の技術を結集させ、工業の力で地域に恩返しをとの想いを実現させるため一生懸命に取り組んでいる。長期プロジェクトであり、今年度が3年目となる制作中の様子を発表しました。わかりやすく、はきはきと発表する姿、高校生の素晴らしい取り組みに会場は感心した。



【県立東岡山工業高等学校による発表】

県内の中学生有志3人らが壇上でスマホ・携帯の問題をテーマに意見を交わした。中学生がそれぞれの学校で取り組んでいるスマホのルール作りや問題点を発表し、「親からルールを押しつけられるより友達から言われた方が



## ◆スマホサミット◆

「OKAYAMA PTA スマホサミット」  
〈コーディネーター〉  
兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄 氏

教育ICT情報モラル教育スペシャリスト  
内閣府ネット環境整備普及啓発検討会議委員長 桑崎 剛 氏



が素直に聞ける」「利用制限を設けるのなら、事前に周知期間が必要」などの中学生の意見を聞き、保護者とも意見を交わした。子ども達自信で適正な利用の仕方を考えさせる事が必要であり、ネットにおける家庭でのルール作りは、親子のコミュニケーションのきっかけともなり、インターネットトラブルや、長時間使用に伴う生活習慣の乱れ等を防ぐため、家庭での利用ルール作りを一層進めて行かなければならないと確認した。

◆講演◆  
《演題》  
「思うは招く  
夢があれば何でもできる」  
《講師》  
(株)植松電機専務取締役 植松 努 氏

北海道の片田舎のわずか20名の町工場が、経験ゼロの出発からたった3年で、全て自腹でロケットの開発を成し遂げる。そんな奇跡をおこした開発者である植松氏を講師に迎え、講演をしていただいた。



「夢」は今できない事を追いかけること。夢をみつけるには、感動すること。「わーすごいー」「やっつて見たい」と思うことで夢をみつける事ができる。人間にとって、できなかった事ができるようになる事がいいことで、夢があると能力が増え仕事が増えるので夢は必要なものである。また、夢に向かって挑戦し、失敗をしても乗り越えたら力になる。失敗をすればするほど強くなる。失敗しても責めてはいけない。失敗した

らどうすれば良いかを考える。考える人を育て増やすことが大切である。考える人を増やすには「やったことのない事をやり抜く人」「あきらめない人」「工夫する人」を育てる事である。社会の求めている人材と、教育で作ろうとしている人材がずれていて今、子ども達は混乱している。

他人に勝つよりも、昨日の自分に負けないだけの少しの努力をすることで、人は成長し続ける事ができる。「夢」は好きな事をやってみたいと思う事で、何個あってもかまわない。夢を叶えるには、その夢をわかってもらえる人に出会えるまで喋り続ける事。「ドリーゼ無理」と言われると自信がなくなり、優しい心も持てなくなってしまう。「無理」「あきらめなさい」と言わないで、「だったらこうしてみたら」という言葉を掛けましょう。素敵な未来のために。と語られ、人の可能性や自信の大切さを再確認することができた。

計報  
「バネリスト」桑崎先生が2月2日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。